
ある王さまの話

ぬこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある王さまの話

【コード】

N0406L

【作者名】

ぬい

【あらすじ】

シヨートシヨートです。

とある国の、太陽になぞらえられた大王の逸話である。

彼は、きわめて時間に厳格な男だった。時計をみれば、どこでなにをしているかわかるといわれていた。そのことから、市井では王の行動を時刻のかわりにしていたほどだった。

「いま何時だ？」

「王さまが、仕事を始める時間ですよ」

「おや、なるほど。じゃあ、わたしたちもはじめようか」

と、このような感じだった。

またあるときは、

「いま何時だね？」

「王さまが、メシを食う時間だよ」

「そうかそうか。どうりで腹が減るわけだ。なら、わしらもメシにするか」

と、このような感じでもあった。

さらにあるときなどは、

「あなた、なにがおかしいの？」

「王さまも、俺らみたいなのをやる時間だと思ってさ」

「いやあね」

と、このような感じにもなった。

そんな大王も、七十年を超える治世のすえ、神の御許に旅立つ日がおとずれた。彼が息を引きとった瞬間、国中に荘厳な鐘の音が鳴りひびいたという。もちろん時報である。

(後書き)

- ・数年前、某巨大掲示板群のオカルト板に投下した『ロア』をショートショートふう到手直したものです。
- ・実在の人物をモデルにしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0406/>

ある王さまの話

2011年10月5日18時48分発行